

2018
(平成30年)

9/15
土

14時開始(13時30分開場)

埼玉会館3階
3C会議室

入場無料
申込不要

多文化共生のために

教育の現場から

日本で暮らす外国籍の方の数は、現在250万人を超えています。

埼玉県内には約17万人の外国籍の方が暮らしており、その数は全国で第5位です。そして、そのなかには、たくさんの子供がいます。また、日本国籍であっても、外国で生まれ育った子どももいます。外国籍の子どもや、外国で生まれ育った「外国につながるのある子ども」は、学校、進学、地域社会、家庭において、言葉、外見、文化の違いに起因する様々な苦難に直面することもあります。

今回のシンポジウムでは、埼玉で暮らす「外国につながるのある子ども」にスポットを当て、教育現場における課題や支援のあり方を広く市民の方々に知っていただき、望ましい支援、施策について、考える場としたいと思います。

基調報告

磯田三津子氏 (埼玉大学准教授)

外国につながるのある子どもたちをめぐる
学校教育の現状と課題

—埼玉県における外国人児童生徒教育の今後を考える—

パネルディスカッション

司会 埼玉弁護士会会員

磯田三津子氏 (埼玉大学准教授)

芳賀 洋子氏 (あそび舎てんきりん代表)

当事者の方



